



総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications

我が国の消防・防災ICT分野の国際協力

総務省 情報通信国際戦略局 国際協力課

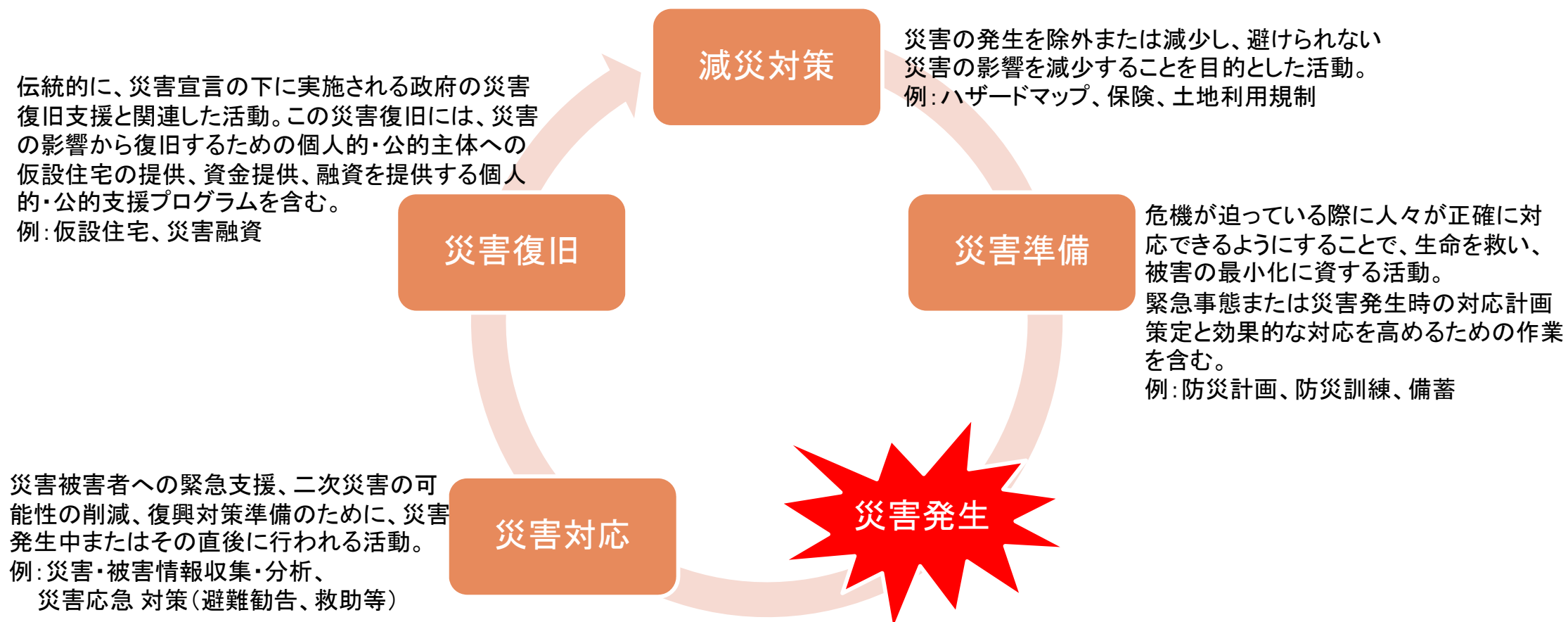
2016年11月30日

日本・マレーシア消防防災フォーラム

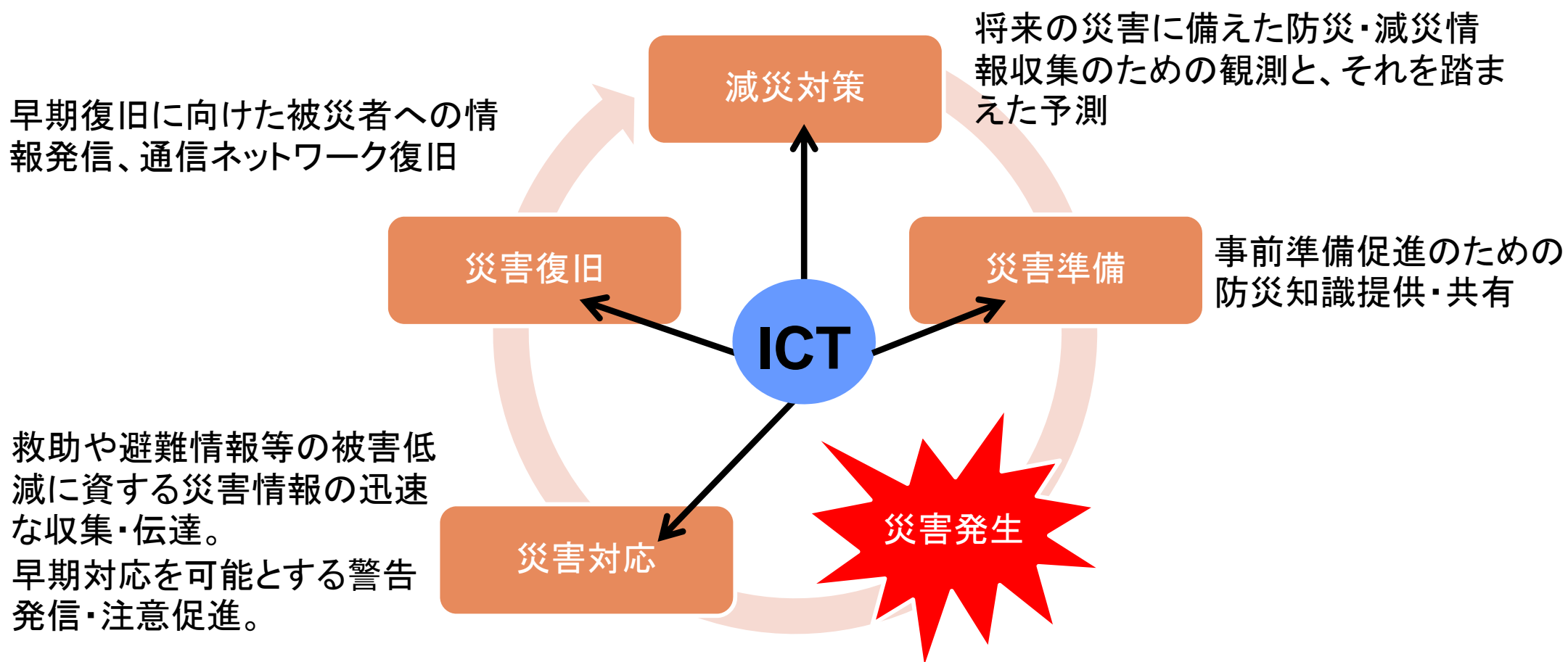
災害被害減少のための防災・減災活動



- 災害による被害を減少させるため、防災・減災活動に取り組まなければならない。
- 防災・減災活動は、災害発生前、発生後の以下の各災害対応ステージにおいて取り組まれる。(下図参照)
- これらの対応ステージは、完結するのではなく、復旧後は、発生前の対応に循環して、将来の災害への対応に備えることになる。



- より効果的な防災・減災活動を実現するため、各ステージで情報通信は重要な要素。
- 国、自治体等の公的機関、住民、マスメディア等の関係者内あるいは関係者間での情報伝達、また、それらの情報を踏まえて、ICTを活用することによる効果的・効率的な災害管理の実施が重要となる。
- 各災害対応ステージにおけるICTの主な活用可能性は、以下のとおり。



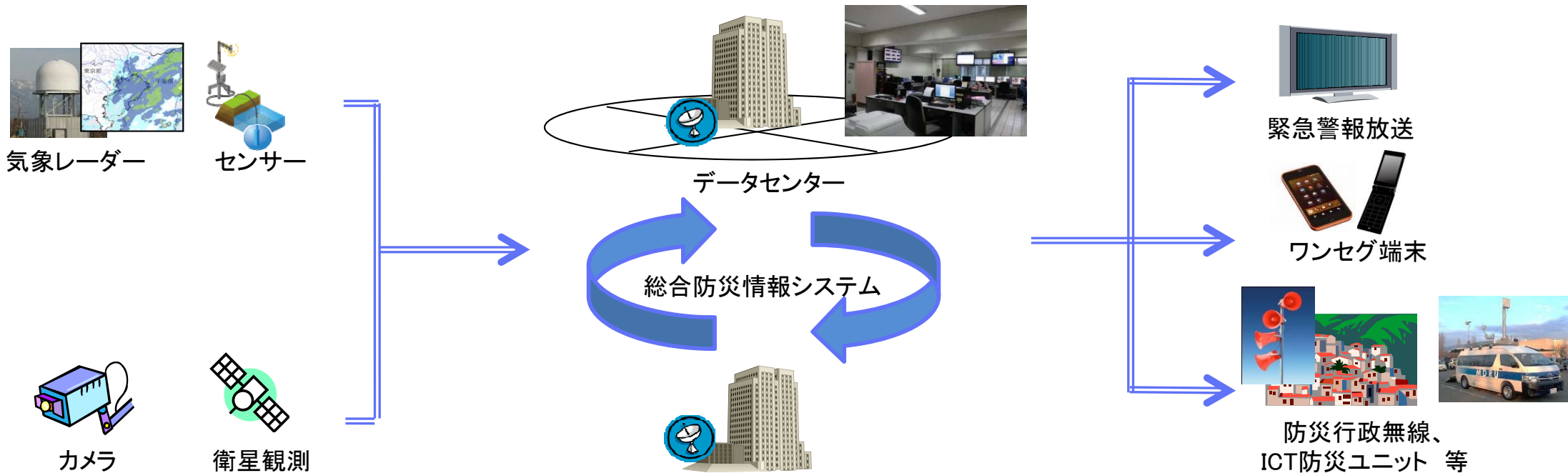
- 情報伝達は災害管理において、重要な要素である。
- ICTを活用することによって、効果的・効率的な災害管理が可能となる。
- 消防・防災ICTシステムは、情報の流通プロセスに着目すると、観測・収集、情報分析、蓄積、情報配信の機能に分類できる。

観測・収集

情報分析(一元化)

蓄積

情報配信



消防・防災ICTの国際協力に向けた取組

- 相手国政府へのトップセールスを基に、地上デジタル放送の国際協力で培った協力関係等を活用しつつ、政策対話、F/S・実証実験・ワークショップ、人材育成セミナー等を組み合わせて取り組む。

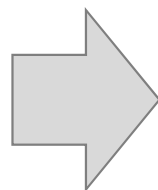
対応方針

相互の情報共有の増進

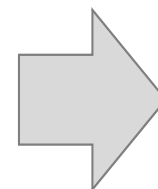
ICTソリューションへの
理解醸成

相手国の
運営・運用能力の向上

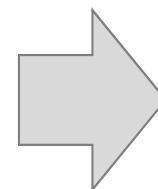
消防・防災分野全体への
展開



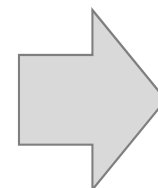
政策対話



F/S、実証実験、
ワークショップ



人材育成セミナー



関係機関との連携

Number

119

- ・火災
- ・救急 全てに対応
- ・救助



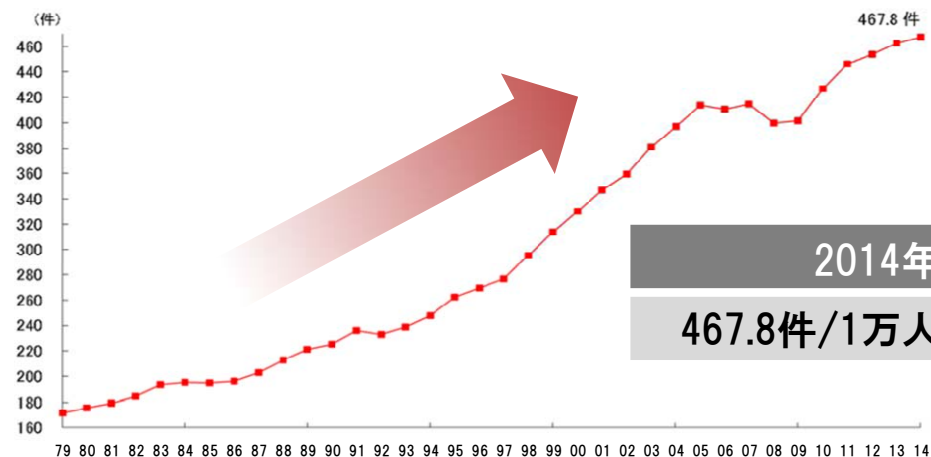
Number

110

・警察

統計情報	2009年	2014年
消防本部数	803本部 (1,683市町村)	750本部 (1,689市町村)
火災出動件数	51,139件	43,741件
救急出動件数	5,122,226件	5,984,921件
救助出動件数	81,567件	88,184件

人口1万人あたりの救急出動件数推移



消防組織の広域化

通報件数は年々増大

より早く、より効率的な消防・救急体制の構築が必要
 消防救急に特化した高機能消防ICTシステム

市民の安全安心を支えるHITACHI高機能消防ICTシステム

- 通報受付から出動指令までのレスポンスタイムの短縮
- 通信システムや消防情報支援システムとの有機的な連携による運用サポート



119番通報受付から出動指令までの流れ

